

第1回 練馬区立高松保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和4年3月23日(水)午後6時20分～6時40分

練馬区役所本庁舎19F 1902会議室

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局(保育計画調整課長)

- 1 開会 選定委員会委員長(こども家庭部長)あいさつ
選定委員会の設置について
委嘱状交付
- 2 議題
 - (1)練馬区立保育園の運営業務委託について
 - (2)選定方針について
 - (3)高松保育園の概要について
 - (4)募集要項および審査基準表について
- 3 その他
今後のスケジュールについて
- 4 閉会

第2回 練馬区立高松保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和4年4月27日(水)午後10時～11時

高松保育園

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局(保育計画調整課長)

- 1 開会
挨拶・委員紹介
- 2 園見学
- 3 閉会

第3回 練馬区立高松保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和4年7月4日(月)午後6時～6時30分

練馬区役所本庁舎 19F 1905 会議室

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局(保育計画調整課長)

- 1 選定委員会委員長あいさつ
- 2 応募事業者一覧
事務局より応募事業者一覧の説明
- 3 経営診断報告
事務局より経営診断報告の説明
経営診断結果により、応募事業者の経営状況について確認
- 4 現地調査部会報告
現地調査部会より、応募事業者が運営する保育園の運営管理、保育内容、
施設管理・環境整備、給食運営、保健業務の各項目について報告
- 5 一次審査(事業者の絞り込み)
今回、12事業者の応募があった。選定方針に基づき一次審査を行うことについて
審議し決定した。
一次審査では、提出書類や経営診断報告、現地調査報告に基づき、各応募事業者
を相対的に比較し、二次審査対象事業者を合議の上、決定した。

上記の状況を踏まえ、3事業者を二次審査の対象とした。
- 6 今後のスケジュールの確認

第4回 練馬区立高松保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和4年7月31日(日)午前9時30分～午後3時

高松地区区民館 レクルーム

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局(保育計画調整課長)

1 応募事業者プレゼンテーション

運営業務委託に応募した3事業者によるプレゼンテーションを、それぞれ35分
(事業者のアピール15分・質疑応答20分)行った。

なお、高松保育園の保護者6名の傍聴があった。

《保護者からの質問事項に対する回答》

事業者A(社会福祉法人みわの会)

質問1 引継ぎ期間にどのような配慮、工夫をしていくか。(子どもに不安を与えないようにするため)

1年間で保育者と子どもたちの人間関係づくりを行うことが大きなポイントになると考えている。決まった大人が保育室に入って引継ぎを行うことや食事など場面に分けて振り返るなど、1年間で調整していきたいと考えている。委託開始前の3か月間は、信頼関係を構築した上で、1年間を踏まえ、意見交換会等で相談しながら引き継ぐことが重要だと考えている。

質問2 保護者との関わり方(父母会、保護者会、行事への参加を含めて)

まずは、お互いを知り合うことが大切だと考えている。保護者から意見があった際には、背景にある本質的な意味を真摯に受け止めて、しっかりと職員間で共有しながら、どのように向き合っていくかを一つひとつ丁寧に対応していきたいと思っている。

園および法人としての強みは、人を尊重し、人を信じ、人を大切にすることだと思っている。子どもだけでなく、職員や保護者など、子どもを通して

て関わる全ての人に対して、真摯に向き合って対応することで、尊重に基づく人間関係を構築していきたい。子どもたちが職員に対して安心感を持って向き合ってくれる場であることを基本に、保護者や近隣の方も安心してくれる保育園であることを目指したいと考えている。

質問3 各事業者の特色やこだわっている点

基本となるアタッチメントを大切にし、徹底している。特色としては、アートを全園で行っている。技法ではなく、創造的思考や非認知能力を引き出すための活動の一つとして実施している。

また、体操指導は、プロのアスリートと業務提携し、体づくりを学ぶ職員研修や保護者研修を実施したり、楽しい体操遊びを展開している。

事業者B

質問1 引継ぎ期間にどのような配慮、工夫をしていくか。(子どもに不安を与えないようにするため)

まずは、1年間で現高松保育園の職員との関係性を構築し、子どもの姿を共有する。子どもに対しては、一人ひとりの子どもの姿を受け止める、知ることを大事に保育していきたい。子どもと信頼関係をしっかりと構築して保育を行いたいと考えている。

質問2 保護者との関わり方(父母会、保護者会、行事への参加を含めて)

子どもとの関わり同様、保護者との関わりも丁寧に行っていきたいと考えている。その日の子どもの姿をお伝えしたり共有することで、保護者の安心に繋がればと思う。

また、保護者から率直に意見を伝えてもらえるような関係づくりに努めていきたいと考えており、保護者会や面談を積極的に行いながら、保護者との信頼関係に繋がるような働きかけをしていきたい。

質問3 各事業者の特色やこだわっている点

共育ち、共育てを大事にすることをベースにしながら、子どもたちの主体的な遊びを引き出していく保育を行っていききたい。

事業者C

質問1 引継ぎ期間にどのような配慮、工夫をしていくか。(子どもに不安を与えないようにするため)

既委託園では、まず、自分たちのことを知ってもらえるように少しずつ子どもに声をかけて、一緒に遊ぶことから始めた。毎日の生活の中で、じっくりと知ってもらうことを意識しながら引継ぎを行っていききたい。

質問2 保護者との関わり方(父母会、保護者会、行事への参加を含めて)

信頼関係を築けるよう、まずは、お声を聞き、お答えをすることで知ってもらうことから運営を始めていきたい。

行事や保護者会などのスタイルについては、現行のものをそのまま踏襲させていただく考えである。

ただし、保護者が現状とそぐわないと思うことについては、保護者や区と相談しながら改善していききたい。

質問3 各事業者の特色やこだわっている点

法人では、子どもに相談する保育の実践に取り組んでいる。法人園で実践による効果を感じているところである。高松保育園でもぜひ実践したいと考えている。

2 園長候補者等ヒアリング

運營業務委託に応募した3事業者に対するヒアリングを、それぞれ25分(園長候補者のアピール5分・質疑応答20分)行った。

第5回 練馬区立高松保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和4年7月29日(金)、8月18日(木)

応募事業者が運営する保育園の視察

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局(保育計画調整課長)

応募事業者が運営する保育園を選定委員が現地視察を行った。

事業者A(社会福祉法人みわの会)の運営する保育園の現地視察

令和4年7月29日(金)午前10時40分～11時25分

事業者Bの運営する保育園の現地視察

令和4年7月29日(金)午前9時～9時45分

事業者Cの運営する保育園の現地視察

令和4年8月18日(木)午前10時40分～11時25分

第6回 練馬区立高松保育園運営業務委託事業者選定委員会
会議要点記録

令和4年8月23日(火)午後6時～6時30分

練馬区役所本庁舎19F 1903会議室

出席者：学識経験者2名、有識者2名、練馬区立保育園園長経験者1名、
こども家庭部長、保育課長、事務局(保育計画調整課長)

事業者の選定について

審査基準表の「A 提出書類等審査」、「B 現地調査・現地視察審査」、「C 園長候補者等ヒアリング審査」の項目ごとに評価し、事業者の選定を行った。

《主な意見》

事業者A(社会福祉法人みわの会)：

- ・ 区立委託園の受託実績があり、公の事業を担うことの責任感がある。
- ・ 保育園の運営管理が適切に行われており、整備環境も良好である。
- ・ 園長候補は、保育の識見に秀でており、実地に即した対応力がある。

事業者B：・ 区内事業者として長年園を運営してきた実績がある。
・ 保育士および保育所の自己評価の取組が適切である。
・ 保育園に対する事業者としてのサポート体制を確立することが求められる。

事業者C：・ 法人の保育理念、保育目標が適切である。
・ 園長候補は、練馬区立委託園の園長経験があり、保育の識見に秀でている。
・ 10園の認可保育所を運営しており、保育園の運営実績が十分である。

評価の結果、二次審査を行った3事業者は、区の選定基準(1,000点中700点)を上回った。最も総合点が高い事業者A(社会福祉法人みわの会)を高松保育園運営業務委託候補事業者として選定した。